

製品名: IDH2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82262**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	50.9kDa

抗原情報

遺伝子名	IDH2
別名	IDH; IDP; IDHM; IDPM; ICD-M; D2HGA2; mNADP-IDH
遺伝子 ID	3418.0
SwissProt ID	P48735
免疫原	大腸菌で発現したヒト IDH2 (AA: 1-143) の精製された組み換え断片。

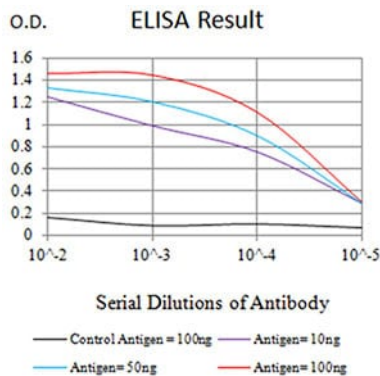
背景

イソクエン酸脱水素酵素は、イソクエン酸から 2-オキソグルタル酸への酸化的脱炭酸反応を触媒する。これらの酵素は 2 つの異なるサブクラスに属し、1 つは電子受容体として NAD(+) を利用し、もう 1 つは NADP(+) を利用する。5 つのイソクエン酸脱水素酵素が

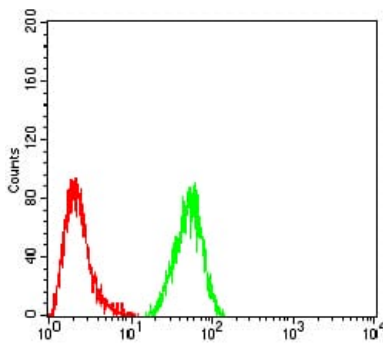
報告されており、ミトコンドリアマトリックスに局在する NAD(+)依存性イソクエン酸脱水素酵素が3つ、ミトコンドリアに局在し、もう1つは主に細胞質に局在する NADP(+)依存性イソクエン酸脱水素酵素が2つある。各 NADP(+)依存性アイソザイムはホモ二量体である。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ミトコンドリアに存在する NADP(+)依存性イソクエン酸脱水素酵素である。この酵素は中間代謝とエネルギー産生において役割を果たしている。このタンパク質は、ピルビン酸脱水素酵素複合体と密接に会合または相互作用する可能性がある。選択的スプライシングにより、複数の転写産物変異体が生じる。[RefSeq 提供、2014年2月]

研究分野

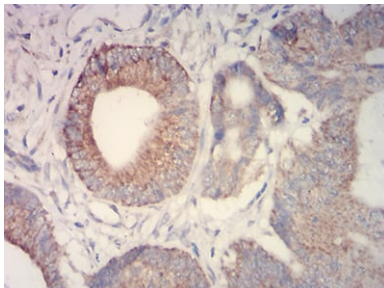
画像データ



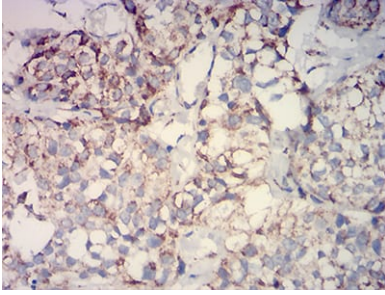
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



IDH2 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



IDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学分析。



IDH2 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。